



夏休みを振り返ったとき 自分に「いいねー!」と 言えるように

今年の夏休み期間は、四十二日間です。この長い休み(自分が自由に使える時間)の中で何をやるか(しないか)は、その後の人生にとって大きな分岐点になります。受験を控えた三年生だけでなく、一・二年生も! 私からの提案は、次のとおりです。

〈夏の過ごし方〉

- **高校を見に行こう。**
(オープンスクール、部活動見学、大会やコンクール)
- **本を読もう。**
(小説、伝記、情報雑誌、時代を見通す著書など)
- **体を鍛えよう。**
(熱中症に気をつけながら、筋トレ、ランニングなど)
- **自主的に学習しよう。**
(モノグサ、学校での自主学習は、いつでもOKだよ!)
- **働こう。**
(家の手伝い、地域の清掃などのボランティアなど)

ゲームやスマホ、テレビやネット等でダラダラと時間をつぶすのをやめて、心と体と頭を鍛えよう!



むごい教育

「どうする家康(大河ドラマ)」で人気の徳川家康が子どもの頃の話を紹介します。

江戸時代が始まる前のこと、駿河の国を治めていた今川義元は、政略的に竹千代(後の徳川家康)を人質に取りました。義元は、教育担当の家康に対し、「竹千代には、むごい教育をせよ」と一言だけ指示をします。しばらく経った後、義元は、家康を呼び、「どのような様子か?」と訊ねました。家康は、待ってましたとばかりに答えます。「はい、早朝から起こして水練をさせ、三食は粗食を与え、風は馬術や剣術に励ませて、夜は学問と、厳しく教育しております。」それを聞いた義元は、烈火の如く激昂しました。

「馬鹿者!それはむごい教育とは言わん!朝は好きなだけ長寝させ、山の幸や海の幸があふれる贅沢な食事を与え、武術や学問が嫌と言えば、決して無理強いせず、常に傍らには女を侍(はべ)らせ、本人の望むとおり、何でも与えてやるが良い。そうすれば、大概の人間は駄目になる。」

家康は「ここまで聞いてやっと分かりました。やがて隣国の大将となる竹千代を従順な腑抜け人間に仕上げようとしたのです。」

家康の弱虫・泣き虫ぶりはここが原因だったか…。そんなドラマも



いよいよ夏休みに入った最初の日曜日に本能寺の変へ! がんばれ家康、がんばれ生徒たち。

〈コラム 港町ブルース〉

「風」

「やりたいこと」「やらねばならぬこと」は数あれど、実行するかしないかということにおいては二者択一です。その選択の場面において「やる」か「やらない」か、この決断によって、生徒達は、己の人生を彩って歩んでいきます。

アマゾンの奥地に生息する一羽の蝶の羽ばたき一つが風を送るだけでもその影響が連鎖して世の中は違う方向に流れると言われます。

君の心の中に風は吹いているか。

変化の源は、自分が起こした風でありたいと心から期待する夏休みです。



《 主な行事予定 》

- 〈7月〉
20日(木) 終業式
21日(金) 夏季休業日 ~8月31日
22日(土) 県中総体 ~7月24日
26日(水) 三者面談(3年)~8月1日
保護者面談(1・2年) //
- 〈8月〉
9日(水) 授業日、平和集会(給食なし)
県民祈りの日
10日(木) 学校閉庁日 ~8月15日
21日(月) 課題実力テスト(全学年)
~22日(給食なし)
23日(水) 3年生授業日 ~24日
漢字検定(希望者)(給食なし)
26日(土) 数学検定(希望者)
- 〈9月〉
1日(金) 始業式(給食あり)

《心に響いた言葉》 「はい、朝から練習してます。」

出勤時に見かけた1年生女子に「(登校が)早いね」と言葉をかけた時の爽やかな返事から。(彼女はバチを手に音楽室へと上がっていきました。)



シリーズ「教育を取り巻く社会の動向」

長崎県教育振興基本計画から

〈第四回〉

高度情報化の進展

スマートフォンやタブレット一つで様々な「情報」を取り出したり発信したりできる世の中になりました。可能性の広がりとともに不安も高まる昨今ですが、この「高度情報化」というものは大多数の人は避けては通れないようです。

長崎県教育振興基本計画の中では次のように示されています。

インターネットに代表される情報通信技術は、国内外の多くの情報を手で、人と人とのコミュニケーションの活性化をもたらすなど、我々の生活には欠かせないものとなっている一方で、情報セキュリティや情報モラルなどへの対応が重要となっています。

一方、文科省は、「情報教育の目標」として、次の三点を挙げています。(抜粋)

- ・ 情報を活用する実践力の育成
- ・ 情報の科学的な理解の促進
- ・ 情報社会に参画する態度の醸成

このような目標のもと、学校教育では「情報」に振り回されず使いこなせる人材の育成が求められています。



〈ところで、中学校(本校)では〉

本校での取組を考へる前に「情報通信技術」と「高度情報化」の違いを整理しておくことが必要かと思えます。

「情報通信技術」…情報を扱う技術

「高度情報化」…情報を多様につなげる施策

右のことを踏まえて、生徒たちに配付されているタブレットPCをもとに考へる(…)(例)。

キーボードのキーを押し込んだことが信号に変わる仕組が「情報通信技術」。一方、キーボードで入力した内容が「危ない」ことだったりしたときに市教委から速攻で学校に電話がかつてくるつながりが「情報化」というところでしょうか。そして、この仕組がもっとも多様につながって、「価値を見出して」「進化している状態が「高度情報化」ということです。

さて、今後「高度情報化」がさらに進む未来を生きる生徒たちにとってどのような教育を施すべきかということについては、前述の文科省が掲げた目標の他に、次のように考へています。

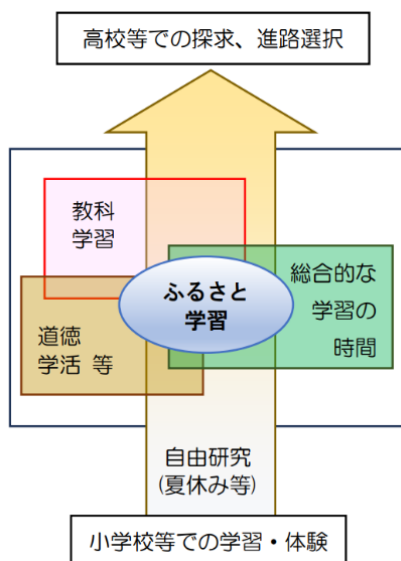
- ・ 人間性を磨く。
- ・ 正しい倫理観や判断力を高める。
- ・ 学び続ける習慣をつける。

これらを実現するためには、いっそう私たち(教員)自身が未来を考へたり、自分を高めたりすることが必要だといひしひしと感じています。

ふるさと文化・歴史・人物 ― 口之津中教育の視点から

「ふるさと学」研究

本校は、本年度から口之津小学校や口加高校と連携・協働して『小中高が一体となったふるさと教育推進事業』に取り組んでいます。左はそのイメージ図です。生徒の主體的な学習を軸に、そして「ふるさと」を教材にして様々な学びがつながり合うことを目標にしています。



先日、具体的な取組として、全校生徒に夏休みに自由研究という課題を出しました。「学びのベクトルは生徒から」を実現し、ふるさとの未来を自分事として考へる生徒の育成を目指します。

【お知らせ…県中総体】

来る七月二十二日から大会が始まります。御声援、どうぞよろしくお願い致します。

- ・ 陸上競技…トランス・コスモスタジアム(観戦)
- ・ 軟式野球…スポーツパークいさはや第一野球場
- ・ 卓球競技…長与総合公園長与町民体育館

※試合の組合せは、長崎県中体連のホームページ掲載の一覧を御覧ください。